D01102401C

ESOTERIC

RZ-1

取扱説明書

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

SUPER AUDIO CD

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

⚠ 警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
 電源プラグをコンセントから抜け	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは。** **機器の内部に異物や水などが入ったときは。** **この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (31ページに記載)に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない。** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。** コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (31ページに記載)に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 分解禁止	**この機器のキャビネットは絶対に外さない。** キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (31ページに記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない。 火災・感電の原因となります。
 強制	**この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。** **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。** 内部に熱がこもり、火災の原因となります。

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
強制	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。** **また、接続は指定のコードを使用する。** それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。
	電源を入れる前には音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けない。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

次のページに続きます ➡

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠ 注意	電池に関する注意
強制	**電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕ とマイナス⊖ の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。** 間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
強制	**長時間使用しないときは電池を取り出しておく。** 液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない。** 破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。** ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
分解禁止	**分解しない。** 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター (31ページに記載)に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

目　次

安全にお使いいただくために 2
お使いになる前に 5
使用上の注意 6
ディスクについて 7

スピーカーとの接続 8
接　続 10
各部の名称 (本体) 12
各部の名称 (ディスプレー) 13
各部の名称 (リモコン) 14
リモコンについて 15

基本操作 16
ディマー /ミュート(消音)/スリープタイマー 17
CD/SACDの再生 18
パソコンと接続して音楽ファイルを再生する 21
設定モード 24

工場出荷時の状態に戻すには 26
保護回路について 26
困ったときは 27
リアパネル 28
仕　様 29
保証とアフターサービス 30

"DSD" is a registered trademark.

"Super Audio CD" is a registered trademark.

This product incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. The use of Rovi Corporation's copy protection technology in the product must be authorized by Rovi Corporation.
Reverse engineering and disassembly are prohibited.

Microsoft 、Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

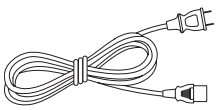
その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室(31ページに記載)にご連絡ください。

電源コード×1



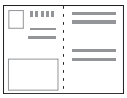
リモコン(RC-1251)×1

リモコン用乾電池(単3)×2本

フェルト×4枚

取扱説明書(本書)×1

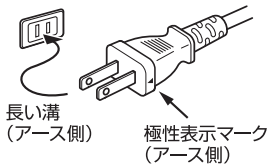
ご愛用者カード×1



電源の極性

付属の電源コードのプラグ部分の極性表示マーク(▲)は、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き(極性)によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



設　置

● 本機は大変重いので、設置の際は、けがをしないように十分ご注意ください。

● 床を傷付けたくない場合は、フットの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- ディスク再生中は高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- 安定した場所に設置してください。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

お手入れ

表面が汚れたときは乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

ディスクについて

本機で再生できるディスク

「Compact Disc Digital Audio」ロゴマークのある CD(12cm/8cm)

「Super Audio CD」ロゴマークのある スーパーオーディオCD

● マルチチャンネルエリアは再生できません。

音楽CDフォーマット(CD-DA)で正しく記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW

本機はこれらのディスクをアダプターなしで再生することができます。これらのディスク以外は再生できません。

⚠ **上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。**

● ロゴマークはディスクレーベル、またはジャケットについています。

● DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCD、DVD-ROM、CD-ROMなどは再生できません。

● コピーコントロールCDなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクやDualDiscは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証いたしかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

● CDレコーダーで作成したCD-R/CD-RWは、忘れずにファイナライズしてください。
CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

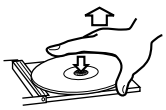
ディスクの品質、記録の状態によっては再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。

取扱い

● ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。

● 信号録音面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。

● ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



取り出し方

持ち方

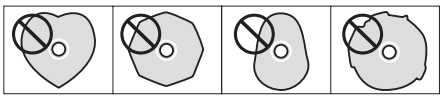
使用上の注意

● ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

● ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

● 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。

● ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



次のページに続きます

ディスクについて (続き)

お手入れ

● 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。

● レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

保存方法

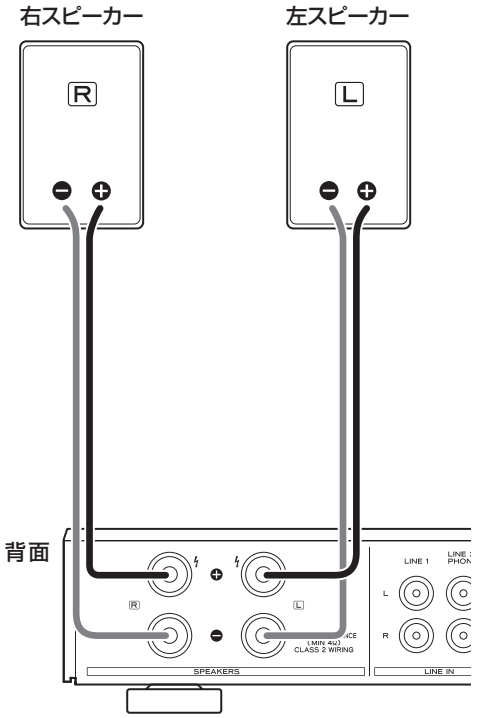
● 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。

● 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。

● CD-R/CD-RWは、通常のCDと比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。

● ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

スピーカーとの接続



スピーカーケーブルについて

● 接続には、市販のスピーカー専用ケーブルをお使いください。

● スピーカーケーブルはできるだけ短いものをご用意ください。ケーブルは長くなるほど抵抗値が増加し、ダンピング特性が劣化します。また、インダクタンスやキャパシタンスも増加し、高域の音質が劣化します。

● 左右のスピーカーケーブルは、同じ長さの物を使用してください。

接続方法

市販のスピーカーケーブルを使って、本機とスピーカーの＋端子同士、－端子同士を接続してください。

⚠ **スピーカーケーブルの接続は、必ず電源プラグを抜いた状態で行ってください。**

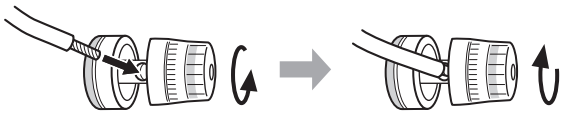
● スピーカー端子のつまみは、左に回すとゆるみ、右に回すと締まります。

● スピーカーケーブルの先端の芯線が露出している部分が、他のコードや端子と接触すると、ショートすることがあります。故障の原因になりますので、スピーカーケーブルは絶対にショートさせないでください。

● ノイズ発生の原因になりますので、接続ケーブルは電源コードと一緒に束ねないでください。

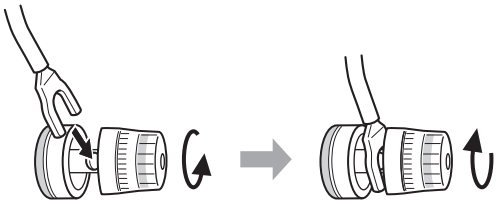
より線の場合

つまみをゆるめ、ターミナルの奥の穴に芯線を差し込み、つまみを締めます。



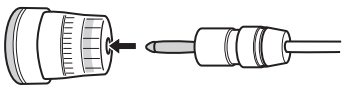
Yラグの場合

つまみをゆるめ、ターミナルの差し込み口に端末を差し込み、つまみを締めます。



バナナプラグの場合

つまみを締めた状態で、端子正面の差し込み口に端末を差し込みます。



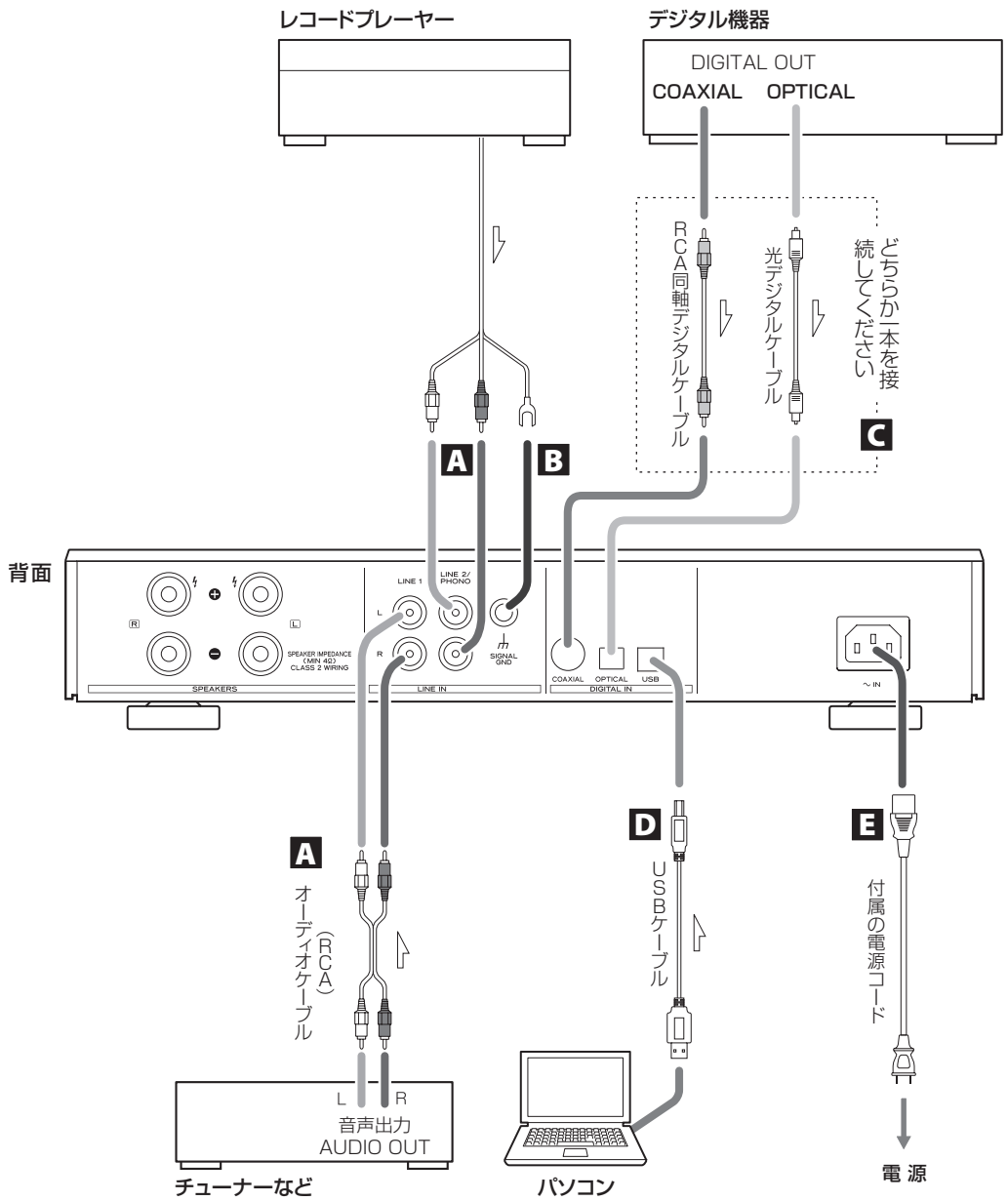
● ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。

接　続

⚠ **全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。**

● 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

● 各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。ノイズ発生の原因となります。



A アナログ音声入力端子 [LINE IN]

アナログの音声を入力します。カセットデッキやチューナーの音声出力端子と接続してください。
市販のRCAオーディオケーブルを使って、白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。

LINE2/PHONO端子
LINE2/PHONO端子には、カセットデッキやチューナーだけでなく、レコードプレーヤー (MM型カートリッジ)を接続することもできます。
設定モードでレコードプレーヤーを接続するか、他の機器(カセットデッキなど)を接続するかを選択してください。(24ページ「設定モード：LINE2/PHONO端子」)
フォノアンプ(E-03等)を接続する場合は、「LINE」に設定してください。

- レコードプレーヤーのアースは、必ず本機のアース端子(SIGNAL GND)と接続してください。
- MCカートリッジを使用する場合は、外部に昇圧トランスなどの機器が必要です。

B アース端子 [SIGNAL GND]

プレーヤーやスピーカーなどとアース接続すると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。
- LINE2/PHONO端子にレコードプレーヤーを接続するときは、必ず本機のアース端子をレコードプレーヤーのアースと接続してください。

C デジタル音声入力端子 [DIGITAL IN]

デジタル音声(PCMフォーマット)を入力します。
デジタル機器のデジタル音声出力端子と接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。
COAXIAL： RCA同軸デジタルケーブル
OPTICAL： 光デジタルケーブル

- 本機の光デジタル端子(OPTICAL)はシャッター式です。接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと、端子が変形してシャッターが閉まらなくなることがありますのでご注意ください。
- 接続する機器にデジタル出力のオン/オフ設定がある場合は、設定をオンにしてください。
- DVDプレーヤーやデジタル放送チューナーなどと接続する場合は、接続する機器のデジタル出力をPCMに変換して出力する設定にしてください。
- 対応サンプリング周波数は、32kHz～192kHzです。

D USB入力端子

パソコンのデジタル音声を入力します。パソコンのUSB端子(USB1.1以上)と接続してください。(21ページ)
接続には市販のUSBケーブルをお使いください。

- 本機のUSB端子は、USB-Bタイプです。
- 対応サンプリング周波数は、32kHz～96kHzです。

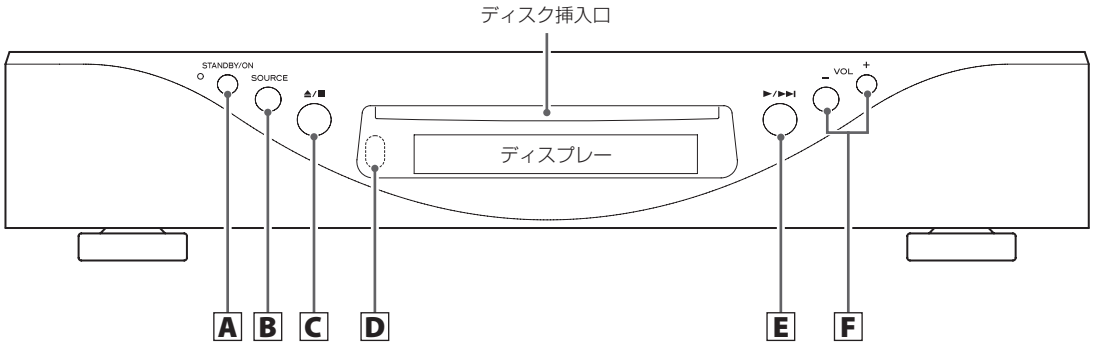
E 電源コード

電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 本機の電源コード接続ソケットは3ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。

各部の名称 (本体)



A スタンバイ/オンボタン [STANDBY/ON]

電源のオン/スタンバイを切り換えます。
電源をオンにすると、インジケーターが青く点灯します。

2秒以上押し続けると、スリープタイマーの設定モードになります。(17ページ)

B 入力切換ボタン [SOURCE]

入力ソースを切り換えます。再生する機器が接続されている端子を選んでください。(16ページ)

2秒以上押し続けると、設定モードになり、ディスプレーに設定が表示されます。設定モードのときは、設定項目の切換えに使います。(24ページ)

C 取出し/停止ボタン [⏏/■]

CD/SACDモードで、再生を停止します。また、停止中に押すと、ディスクを取り出します。

CD/SACDモード以外で押すと、ディスクを取り出します。

D リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

E 再生/スキップボタン [►/►►I]

ディスクがセットされているときに押すと、CD/SACDモードになり、ディスクの再生を始めます。
再生中に押すと、後の曲にスキップします。

全てのモードで、2秒以上押し続けると一時的に音を消します。(17ページ)

F 音量ボタン [VOL +/–]

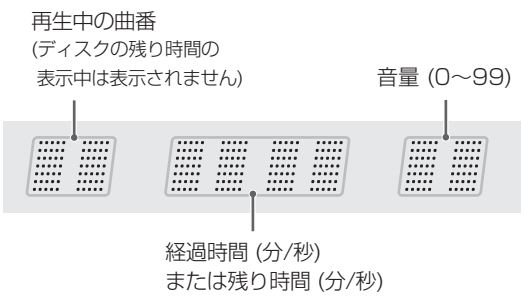
音量を調節します。+を押すと大きくなり、–を押すと小さくなります。

設定モードのときは、設定の変更に使います。(24ページ)

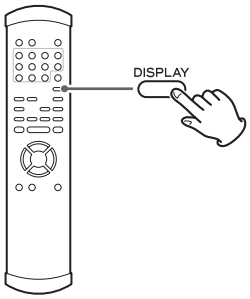
各部の名称 (ディスプレー)

CD/SACDモード

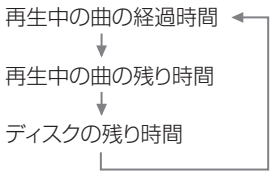
ディスクの再生中



表示の切換え



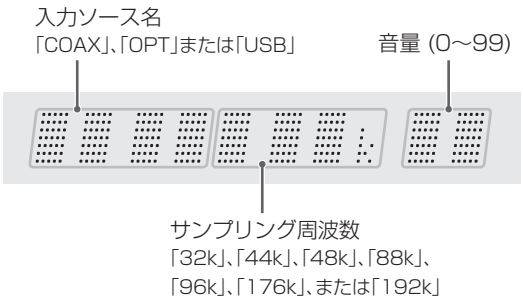
再生中に表示切替ボタン(DISPLAY)を押すたびに、表示の切替えができます。



ディスクの停止中

ディスクの種類を表示します。(「SACD」または「CD」)
ディスクがセットされていないときは、「NO DISC」が表示されます。

COAX/OPT/USBモード

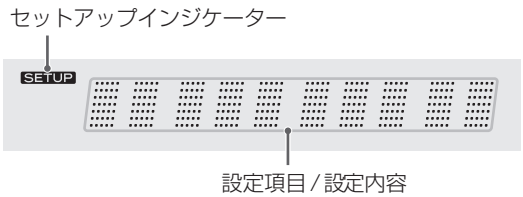


● 入力機器が接続されていなかったり、接続されていても本機がロックできない状態の場合は、サンプリング周波数が表示されずに入力ソース名の表示が点滅します。接続を確認してください。

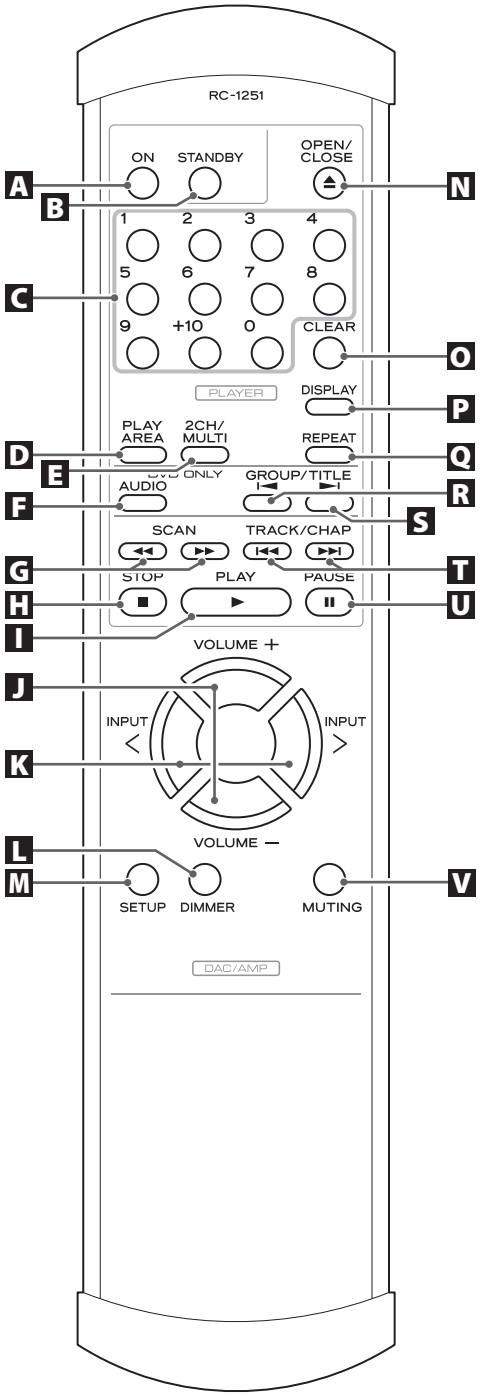
LINE1/LINE2(PHONO)モード

● LINE2をPHONO入力として使用する場合は、設定モードのL-2設定をPHONOに設定してください。
(24ページ「設定モード：LINE2/PHONO端子」)

設定モード



各部の名称 (リモコン)



A オンボタン [ON]

スタンバイ状態のとき、電源をオンにします。
電源をオンにすると、インジケーターが青く点灯します。

B スタンバイボタン [STANDBY]

電源がオンのとき、スタンバイ(オフ)にします。

C 数字キー

CD/SACDモードで、選曲に使います。

D 再生エリアボタン [PLAY AREA]

CD/SACDモードで停止中に押すと、スーパーオーディオCDの再生エリアが切り換わります。(20ページ)

E 2CH/MULTIボタン [2CH/MULTI]

本機では使用しません。

F オーディオボタン [AUDIO]

CD/SACDモードで、シャッフル再生に使用します。(20ページ)

G スキャンボタン [◄◄/►►] [SCAN]

CD/SACDモードで、再生中に押すと早送り/早戻しができます。

H 停止ボタン [■] [STOP]

CD/SACDモードで、再生を停止します。

I 再生ボタン [►] [PLAY]

ディスクがセットされているときに押すと、CD/SACDモードになり、ディスクの再生を始めます。

J 音量ボタン [VOLUME +/−]

音量を調節します。+を押すと大きくなり、−を押すと小さくなります。

K 入力切換ボタン [INPUT </>]

入力ソースを切り換えます。再生する機器が接続されている端子を選んでください。(16ページ)
設定モードのときは、設定の変更に使います。(24ページ)

L ディマーボタン [DIMMER]

ディスプレーとインジケーターの明るさを調節します。(17ページ)

リモコンについて

M 設定ボタン [SETUP]

このボタンを押すと設定モードになります。設定モードのときは、設定項目の切換えに使います。(24ページ)

N 取出しボタン [⏏] [OPEN/CLOSE]

ディスクを取り出します。

O 取消ボタン [CLEAR]

数字キーの「+10」を間違って押したときに使います。(19ページ)
設定モードのときは、設定モードを終了します。(24ページ)

P 表示切替ボタン [DISPLAY]

CD/SACDモードで再生中に押すと、ディスプレイの表示が切り替わります。(13ページ)

Q リピートボタン [REPEAT]

CD/SACDモードで再生中に押すと、リピートモードが切り替わります。(20ページ)

R グループ/タイトルボタン [I◄◄] [GROUP/TITLE]

本機では使用しません。

S グループ/タイトルボタン [►►I] [GROUP/TITLE]

このボタンを押すと、スリープタイマーの設定モードになります。(17ページ)

T スキップボタン [I◄◄ / ►►I]

CD/SACDモードで再生/一時停止中に押すと、前または後ろの曲にスキップします。

U 一時停止ボタン [❚❚] [PAUSE]

CD/SACDモードで、再生を一時停止します。

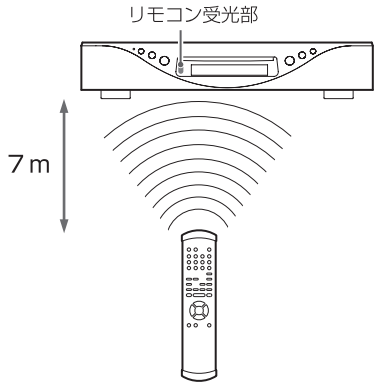
V 消音ボタン [MUTING]

一時的に音を消します。(17ページ)

本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

使用上の注意

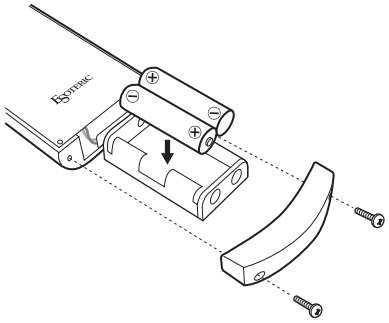
リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
また、角度により受信しにくい場合もありますので、できるだけ正面から操作してください。



- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますので、ご注意ください。

電池の入れ方

プラスドライバーを使ってリモコン下部のフタを外し、電池ケースを引き出してください。⊕と⊖の向きを確認して乾電池(単3形)2本を入れ、電池ケースを戻しフタを閉めてください。



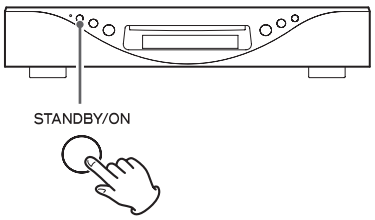
電池の交換

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

電池についての注意

⚠ **電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。4ページの注意をよく読んでご使用ください。**

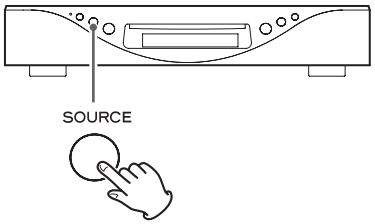
1 スタンバイ/オンボタン(STANDBY/ON)を押して電源をオンにする。



インジケーターが青く点灯します。

● 接続した機器の電源を先にオンにしてください。

2 入力切換ボタン(SOURCE)を押して入力ソースを選ぶ。



入力切換ボタン(SOURCE)を押すたびに、入力ソースが以下のように切り換わり、ディスプレーに表示されます。

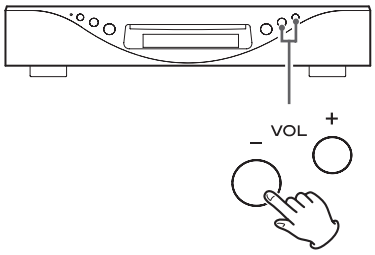
CD/SACD
↓
COAX
↓
OPT
↓
USB
↓
LINE1
↓
LINE2 または PHONO*

* LINE2をPHONO入力として使用する場合は、設定モードのL-2設定をPHONOにしてください。
(24ページ「設定モード：LINE2/PHONO端子」)

● リモコンの入力切換ボタン(INPUT 〈/〉)も使えます。〈ボタンを押すと、上の表と逆の順で切替えをします。

● 「COAX」、「OPT」または「USB」で入力機器が接続されていなかったり、接続されていても本機がロックできない状態の場合は、表示が点滅します。接続を確認してください。

3 入力ソースを再生して音量を調節する。



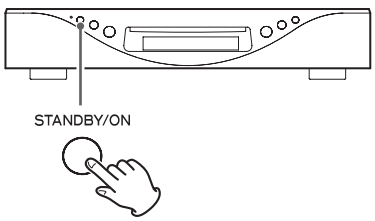
⚠ **突然大きな音が出ると、聴覚障害などの原因になることがあります。音量は最小にしておいて、音を出してから適切な音量に調節するようにしてください。**

電源をスタンバイ(オフ)にする

不用意に電源を切るとスピーカーからノイズが出ることがあります。本機の電源をスタンバイ(オフ)にするときは、以下の手順に従ってください。

1 接続した機器が再生中の場合は、再生を停止する。

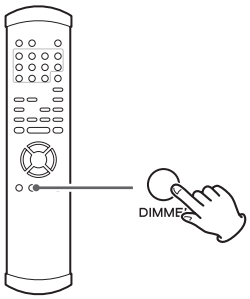
2 本機のスタンバイ/オンボタン(STANDBY/ON)を押して、スタンバイ(オフ)にする。



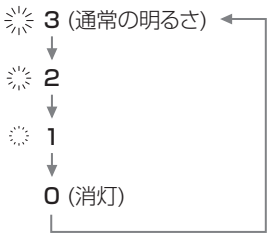
ディマー /ミュート(消音)/スリープタイマー

これらは、どのモードでも共通の操作です。

ディマー

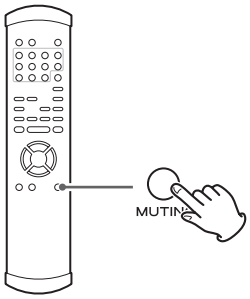


ディマーボタン(DIMMER)を押すたびに、ディスプレーとインジケーターの明るさが変わります。



- 消灯中にいずれかのボタンを押すと、3秒間だけディスプレーが通常の明るさで点灯します。
- 設定モードのときは通常の明るさで点灯します。

ミュート(消音)



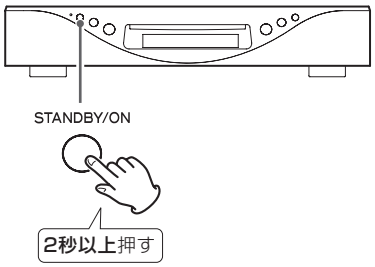
消音ボタン(MUTING)を押すと、一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- 本体の再生/スキップボタン(►/►►I)を2秒以上押しても消音することができます。
- 消音中は、ディスプレーに「MUTING」と入力端子名が交互に表示されます。
- 消音中に音量ボタン(VOL +/−)を押しても元の音量に戻ります。

スリープタイマー

設定した時間が過ぎると、自動的に電源をスタンバイ(オフ)にします。

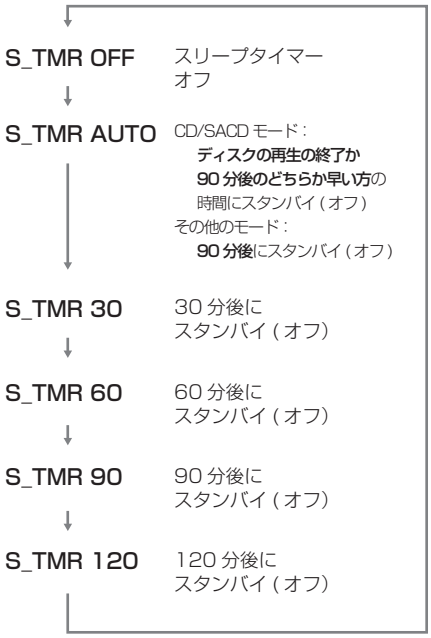
1 スタンバイ/オンボタン(STANDBY/ON)を2秒以上押してスリープタイマーモードにする。



- リモコンのグループ/タイトルボタン(►I)(GROUP/TITLE)も使えます。(このボタンの場合、2秒以上押さなくてもスリープタイマーモードになります)

2 スタンバイ/オンボタン(STANDBY/ON)を押してスタンバイ(オフ)になる時間を選ぶ。

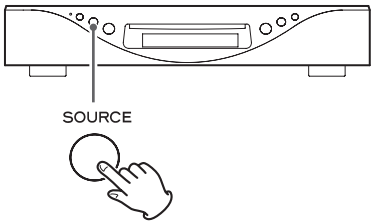
押すたびに以下のように変わります。



- リモコンのグループ/タイトルボタン(►I)(GROUP/TITLE)も使えます。
- スリープタイマー設定中は、ディスプレーに「XXm」(XXは残り時間(分))と通常の表示が交互に表れ、ディスプレーとインジケーターが暗くなります。

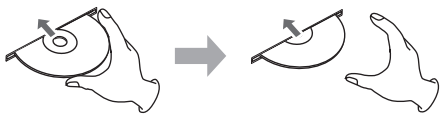
CD/SACDの再生

1 入力切換ボタン(SOURCE)を押して「CD/SACD」を選ぶ。



● CD/SACDモード以外のときにディスクを入れると、自動的にCD/SACDモードになります。

2 ディスクのレーベル面を上にして挿入口に入れる。



ディスクは自動的に引き込まれます。引き込まれ始めたら手を離してください。

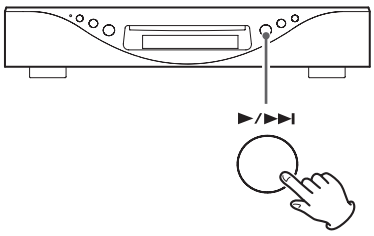
- ディスクを強く押し込まないでください。
- 複数のディスクを一度に挿入しないでください。
- ラベルやセロハンテープなどをディスクに貼らないでください。
- 特殊形状のCDは、使用しないでください。

故障の原因になります。

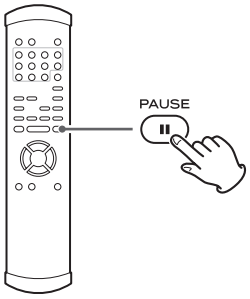
● ディスクの読み込みには多少時間がかかります。

● 本機で再生できないディスクは排出されます。(対応ディスクについては、7ページをご覧ください)

3 再生ボタン(►/►►I)を押して、再生を始める。

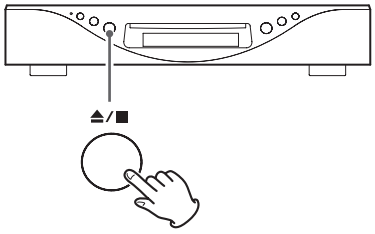


一時停止するには



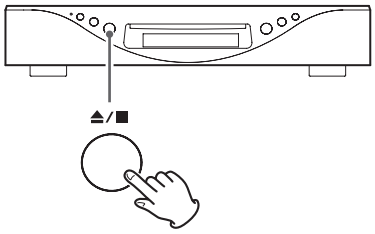
再生中に一時停止ボタン(❚❚)(PAUSE)を押すと再生が一時停止します。
再生ボタン(►)(PLAY)または一時停止ボタン(❚❚)(PAUSE)を押すと、再び再生が始まります。

停止するには



停止ボタン(▲/■)を押すと再生が停止します。

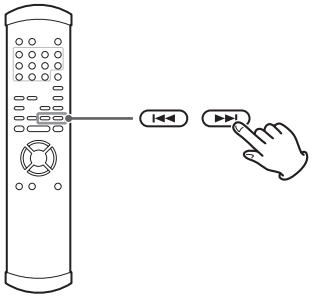
ディスクを取り出すには



CD/SACDモードで停止中に取出しボタン(▲/■)を押すとディスクが出てきます。
他のモードのときでも取出すことができます。

8cmのCDを取り出してから再度入れるときの注意
本機から完全にディスクを引き出してから再度入れてください。そのまま押し込むとディスクを取り出せなくなることがあります。
もし取り出せなくなってしまった場合は、電源をスタンバイ(オフ)にしてから再度オンにするか、取出しボタン(▲/■)を2秒以上押してください。

スキップするには

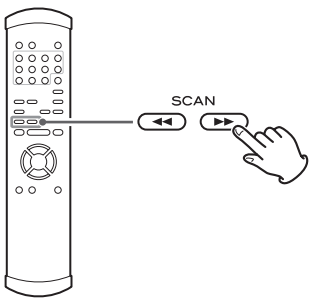


再生中にスキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押すと、前または後の曲にスキップして再生を始めます。

● I◄◄ ボタンを1回押すと、再生中の曲の頭に戻ります。それより前に戻りたいときは、I◄◄ ボタンを続けて押してください。
ただし、曲の最初の1秒以内でI◄◄ ボタンを押した場合は、前の曲にスキップします。

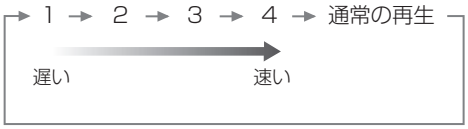
● 一時停止中にI◄◄ / ►►I ボタンを押すと、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。

早送り/早戻しするには(スキャン)

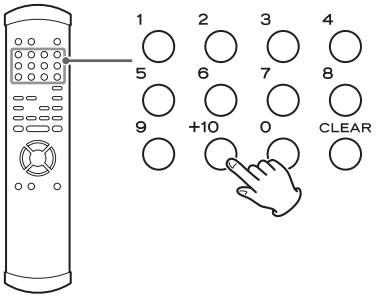


再生中にスキャンボタン(◄◄ / ►►)(SCAN)を押すと、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら、再生ボタン(►)(PLAY)を押してください。

スキャンボタン(◄◄ / ►►)(SCAN)をくり返し押すと、早送り/早戻しの速度が変わります。



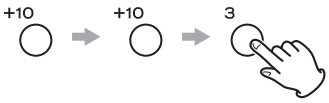
数字キーで選んで再生するには



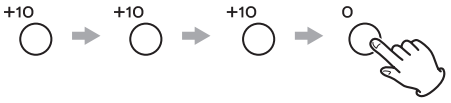
再生中または停止中に数字キーを押すと、その曲から再生を始めます。

5曲目を再生したいとき

23曲目を再生したいとき



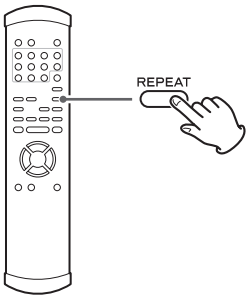
30曲目を再生したいとき



●「+10」を間違えて押したときは、取消ボタン(CLEAR)を押すとキャンセルができます。

CD/SACDの再生 (続き)

リピート再生



再生中にリピートボタン(REPEAT)を押すたびに、リピートモードが変わります。

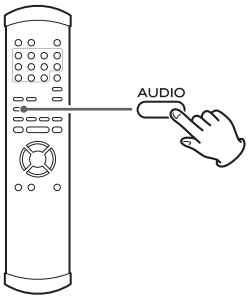
トラックリピート
再生中の曲をくり返し再生します。
トラックリピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲をくり返し再生します。

ディスクリピート
再生中のディスクの全曲をくり返し再生します。

リピート オフ

● 再生を停止するとリピート再生は解除されます。

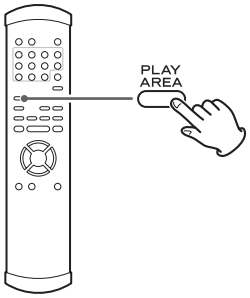
シャッフル再生



オーディオボタン(AUDIO)を押すたびに、シャッフル再生(曲の順番をランダムにして再生)のオン/オフが切り替わります。
シャッフル再生中は、ディスプレーの時間表示の右側に「⁜」が表示されます。

再生エリアの切換え

スーパーオーディオCDには、スーパーオーディオCDとCDの2層構造になっているものがあります。



停止中に再生エリアボタン(PLAY AREA)押すたびに、セットされているスーパーオーディオCDの再生エリアが切り替わります。

● 本機はスーパーオーディオCDの2チャンネルエリアのみ再生できます。マルチチャンネルエリアの再生はできません。

パソコンと接続して音楽ファイルを再生する

本機のUSB入力端子とパソコンをUSBケーブルで接続して、パソコンの音声を本機に入力することができます。
対応するパソコンのOSはMicrosoft「Windows XP」、または「Windows Vista」です。これ以外のOSでは正常に動作しないことがあります。
また、USB1.1以上対応のパソコンと接続してください。

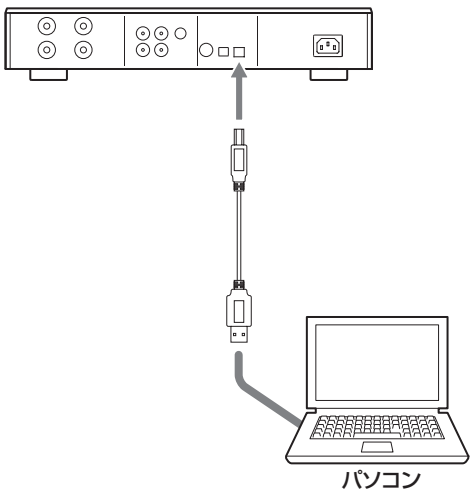
- パソコンのハードウェア、ソフトウェアの構成によっては、上記のOSを使用していても動作できない場合があります。
- パソコンから本機をコントロールしたり、本機からパソコンをコントロールすることはできません。
- 本機からUSB経由でパソコンに音楽ファイルを転送することはできません。

1 パソコンの電源を入れる。

OSが正常に起動したことを確認してください。

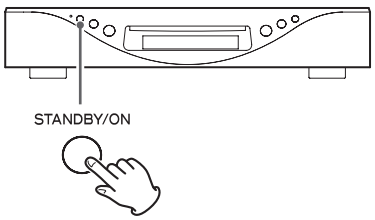
2 USBケーブルでパソコンと本機を接続する。

ケーブルは本機の接続端子に合うものをご使用ください。本機のUSB端子は、USB-Bタイプです。

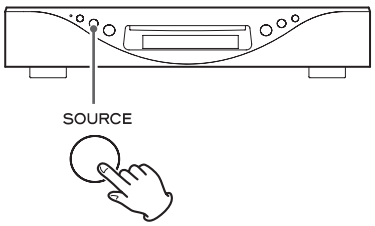


- 初めてパソコンと本機を接続した場合は、パソコン側で本機のUSBポートを自動検出し、ドライバーがインストールされます。パソコンの指示に従って、ドライバーのインストールを完了してください。
- 本機の電源がスタンバイ(オフ)でも、パソコンは本機とのUSB接続を認識します。

3 本機のスタンバイ/オンボタン(STANDBY/ON)を押して電源をオンにする。



4 入力切換ボタン(SOURCE)を押して「USB」を選ぶ。



5 パソコンで音楽ファイルの再生を開始する。

パソコン側の音量は最大に設定して、本機に接続したアンプで音量を調節するとより良い音質が得られます。アンプの音量は再生開始時には最小にし、徐々に大きくして調節してください。

- USB接続で音楽ファイルを再生しているときに、下記の操作を行わないでください。パソコンの誤動作の原因となります。これらの操作は必ず音楽再生ソフトを終了してから行ってください。
  - USBケーブルを抜く
  - 本機の電源をスタンバイ(オフ)にする
  - 本機の入力ソースを切り換える
- パソコンが正しく接続されていない場合は、サンプリング周波数が表示されずに「USB」の表示が点滅します。接続を確認してください。
- USB接続で音楽ファイルを再生しているときは、パソコンの操作時のサウンドも再生されます。 操作時のサウンドを再生したくない場合は、パソコン側で設定を行ってください。

次のページに続きます

パソコンと接続して音楽ファイルを再生する (続き)

● パソコンの環境によっては、USB上のデータ伝送速度が確保できず、音が途切れたり、ノイズが発生したりする場合があります。また、音楽ファイル再生中に他のアプリケーションを起動した場合も、音が途切れたり、ノイズが発生したりする場合があります。

● 音楽再生ソフトを起動した後で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に設定した場合は、音楽ファイルが正しく再生できないことがあります。この場合は、音楽再生ソフトを再起動するか、パソコンを再起動してください。

● パソコンとUSB接続されていると、本機の電源がスタンバイ(オフ)であっても、パソコンは本機とのUSB接続を認識し、本機から音を出そうとします。
パソコンに直接接続されたスピーカーやヘッドホンから音を出したい場合は、USBケーブルを抜くか、パソコンのサウンド出力デバイスの設定を変更してください。
(変更方法は、右の「音声が出力できない場合」をご覧ください)

音声が出力できない場合

正しく音声が出力できない場合は、以下の点を確認してください。

Windows XP の場合

「コントロールパネル」
➔「サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ」
➔「オーディオ」
➔「音の再生」
➔「既定のデバイス」で、「ESOTERIC RZ-1」が選択されていることを確認してください。

● 本機からではく、パソコンに直接設定されたスピーカーやヘッドホンから音を出したい場合は、「規定のデバイス」で本機以外のデバイスを選択してください。

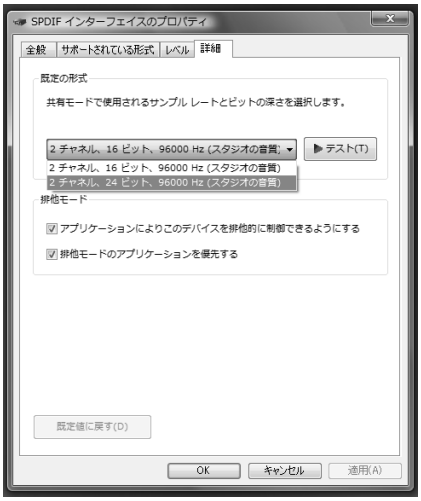
Windows Vista の場合

「コントロールパネル」
➡「サウンド」
➡「再 生」で「SPDIFイ ン タ ー フ ェ イ ス ESOTERIC RZ-1」が選択されていることを確認してください。

さらに以下の設定をすることをお勧めします。

「SPDIFインターフェース」を選択して「プロパティ」をクリックします。
➡「サポートされている形式」のタブをクリックし、「エンコード形式」のチェックを外します。
➡ 設定したいサンプルレートにチェックを入れます。

「詳細」のタブで、「2チャンネル、24ビット、***** Hz」を選択します。

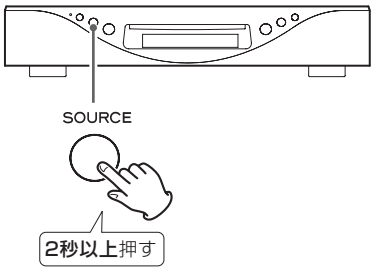


● 再生する音楽ファイルの形式に関わらず、USB接続では選択したサンプリング周波数のPCM信号で送られます。

設定モード

設定のしかた

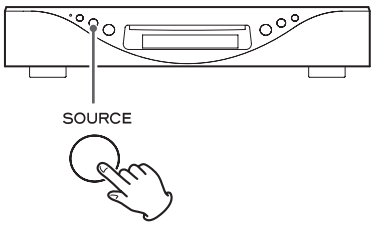
1 入力切換ボタン(SOURCE)を2秒以上押して設定モードにする。



セットアップインジケーター (SETUP)が点灯し、設定項目が表示されます。

● リモコンの設定ボタン(SETUP)も使えます。(このボタンの場合、2秒以上押さなくても設定モードになります)

2 入力切換ボタン(SOURCE)を押して設定項目を選ぶ。



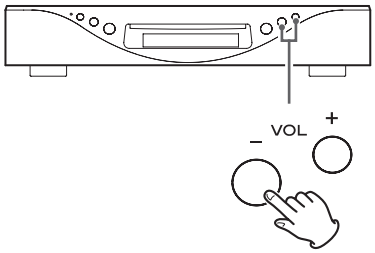
設定項目が以下のように変わります。

BAL > スピーカーバランス
↓
TREBLE > 高音域設定
↓
BASS > 低音域設定
↓
DF > デジタルフィルター
↓
L-2 > LINE2/PHONO端子
↓
DIMMER > ディマー
↓
通常の表示
(設定モードの終了)

● リモコンの設定ボタン(SETUP)も使えます。

● 10秒以上放置すると、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。

3 音量ボタン(VOL +/−)を使って、設定を変更する。

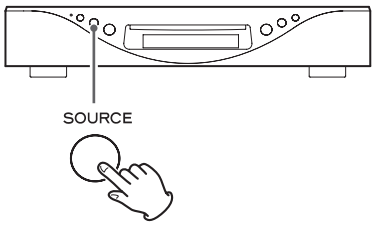


● リモコンの入力切換ボタン(INPUT 〈/〉)も使えます。

各設定内容については、次のページをご覧ください。

複数の項目を変更する場合は、手順 2 と 3 をくり返してください。

4 通常の表示になるまで入力切換ボタン(SOURCE)をくり返し押して、設定を終了する。



● 以下のボタンを押しても設定モードは終了します。

取出し/停止ボタン(▲/■)
リモコンの停止ボタン(■)(STOP)
リモコンの取消ボタン(CLEAR)

● 設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

項目と設定内容

■BAL > (スピーカーバランス)

スピーカー出力のL/Rのバランスを調節します。
Rの値を大きくすると、右スピーカーに音が偏ります。
Lの値を大きくすると、左スピーカーに音が偏ります。

R3.0
↕
(0.5dBきざみ)
↕
0.0 (センター)
↕
(0.5dBきざみ)
↕
L3.0　　数字はdBを表します。

■TREBLE > (高音域設定)

トーンコントロールの高音域を調節します。数字が大きくなるにしたがって、高音が強調されます。

+10
↕
⋮
↕
0 (フラット)
↕
⋮
↕
−10

■BASS > (低音域設定)

トーンコントロールの低音域を調節します。数字が大きくなるにしたがって、低音が強調されます。

+10
↕
⋮
↕
0 (フラット)
↕
⋮
↕
−10

■DF > (デジタルフィルター)

D/Aコンバーターのデジタルフィルターを切り換えます。

FIR
32bit/FIRデジタルフィルターにより、入力信号を8倍オーバーサンプリングします。濃密で豊かな音の響きを特徴とします。

S_DLY
32bit/ショートディレイフィルタにより、入力信号を8倍オーバーサンプリングします。インパルス応答にプリエコーがなく、音の立ち上がりや音の余韻が自然で、原音に近い音色が特徴です。

■L-2 > (LINE2/PHONO端子)

LINE2のフォノイコライザーの設定をします。

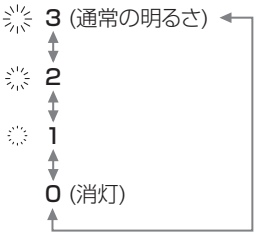
LINE
フォノイコライザーを使用しません。通常のラインレベルの機器を接続します。

PHONO
フォノイコライザーを使い、レコードプレーヤー (MMカートリッジ)を接続します。

- MCカートリッジを使用する場合は、外部に昇圧トランスなどの機器が必要です。
- フォノアンプ(E-03等)を接続する場合は、「LINE」を選んでください。

■DIMMER > (ディマー)

本体のディスプレーの明るさを調節します。リモコンのディマーボタン(DIMMER)と同じ機能です。(17ページ)



- 消灯中にボタンを押すと、3秒間だけディスプレーが通常の明るさで点灯します。
- 設定モードのときは通常の明るさで点灯します。

工場出荷時の状態に戻すには

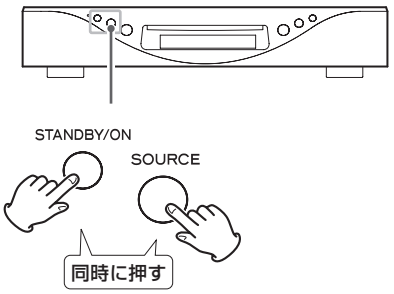
設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

1 電源をスタンバイ(オフ)にする。

オフにしてから30秒以上待ってください。

2 入力切換ボタン(SOURCE)を押しながら、スタンバイ/オンボタン(STANDBY/ON)を押す。



「Setup CLR」が表示されたら、ボタンから指を離してください。

保護回路について

本機には保護回路が内蔵されています。
保護回路が働くと、「AMP ERROR!」がディスプレーに点滅します。この場合は以下のことを行ってください。

1. 電源をスタンバイ(オフ)にして、電源プラグをコンセントから抜く。

2. スピーカーとの接続を確認する。
   ➡スピーカーケーブルの＋と－がショートしているため保護回路が働いていることがあります。

3. 電源をオンにする。

以上のことを行ってもエラー表示が消えない場合は、再び電源をスタンバイ(オフ)にし、電源プラグをコンセントから抜いて、10分程度経ってから再度電源をオンにしてください。
   ➡内部の温度が高くなっているため保護回路が働いていることがあります。

それでも保護回路が働く場合は、ティアック修理センター(31ページに記載)にご連絡ください。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、修理を依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、原因が本機以外にあることも考えられます。接続した機器の使用方法もあわせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (31ページに記載)にご連絡ください。

電源が入らない。
➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

リモコンで操作できない。
➡ 電池が消耗していたら、新しい電池に交換してください。
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から7メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。

ボタンを押しても反応しない。
➡ 続けてボタンを押すと、本機が対応できないことがあります。ボタンを押すときは、反応するまで少しお待ちください。

テレビなどが誤動作する。
➡ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。その場合は本体のボタンをお使いください。

雑音がする。
➡ テレビなど強い磁気を帯びたものからはできるだけ離して設置してください。

音が出ない。
➡ 音量ボタン(VOL +/−)を押して音量を調節してください。
➡ スピーカーや再生機器との接続を確認してください。
➡ 接続した機器の設定を確認してください。
➡ スピーカーコードの＋と−がショートしている可能性があります。スピーカーコードの接続を確認してください。
➡ 入力切換ボタン(SOURCE)を押して、聴きたい入力ソースを選んでください。

デジタル接続した機器の音が出ない。
➡ DVDプレーヤー等のデジタル出力端子と接続する場合、プレーヤー側の「デジタル音声出力」の設定はPCMにしてください。または、アナログ音声入力端子(LINE IN)をお使いください。

CDやスーパーオーディオCDを再生できない。
➡ 入力切換ボタン(SOURCE)を押して、「CD/SACD」を選んでください。
➡ ディスクを正しくセットしてください。ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 本機の内部が結露している場合は、電源を入れて1、2時間放置してください。
➡ 本機ではスーパーオーディオCDのマルチチャンネルエリアは再生できません。

CDとスーパーオーディオCDで音量差を感じる。
➡ CDとスーパーオーディオCDで音量差を感じることがありますが、これはディスクの記録方式の違いによるものです。

「AMP ERROR!」が表示される。
➡ 前ページの「保護回路について」をご覧ください。

パソコンとのUSB接続

パソコンで本機が認識されない。
➡ 対応するパソコンのOSはMicrosoft 「Windows XP」、または「Windows Vista」です。これ以外のOSでは正常に動作しないことがあります。また、USB1.1以上対応のパソコンと接続してください。

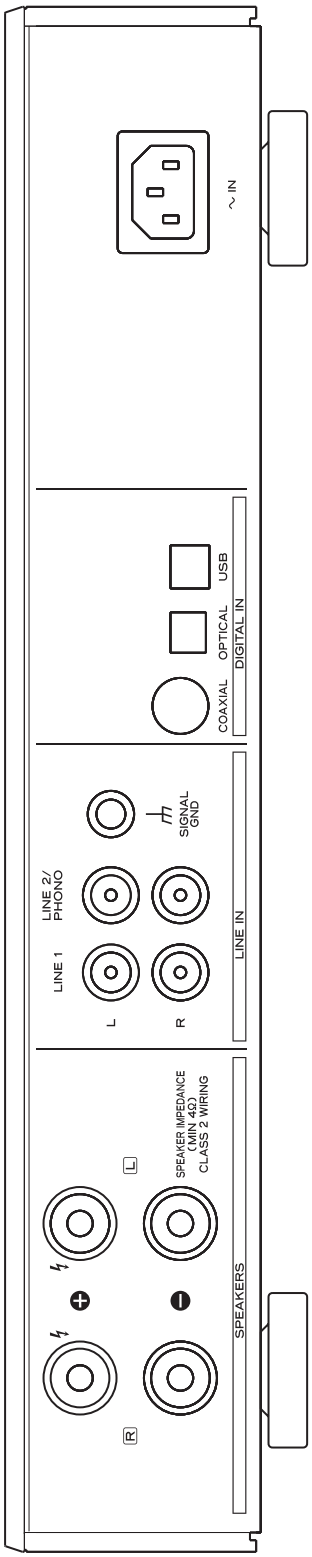
雑音がする。
➡ 音楽ファイル再生中に他のアプリケーションを起動すると、音が途切れたり、ノイズが発生する場合があります。再生中は他のアプリケーションを起動しないでください。

音楽ファイルが再生できない。
➡ パソコンと本機を接続してから、音楽再生ソフトを起動して再生を開始してください。音楽再生ソフトを起動した後で本機とパソコンを接続すると、音楽データが正しく再生できないことがあります。
➡ 22ページの「音声が出力できない場合」をご覧ください。

音量が小さい。
➡ 音楽再生ソフトの音量設定と併せて、OSの音量設定が小さくなっていないか確認してください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

リアパネル


~ IN
USB
OPTICAL
COAXIAL
DIGITAL IN
SIGNAL GND
LINE 2/ PHONO
LINE 1
L
R
LINE IN
SPEAKER IMPEDANCE (MIN. 4Ω) CLASS 2 WIRING
L
R
SPEAKERS

仕　様

スピーカー出力

実用最大出力 . . . . 100W+100W (1kHz、6Ω、JEITA)
定格出力. . . . . .80W+80W
(1kHz、0.1%、6Ω、LPF 20kHz)、(JEITA)
適合最小インピーダンス 4Ω
周波数特性
15Hz～65kHz (+1dB、−3dB、6Ω)(JEITA)
全高調波歪率 0.03%
(1kHz、出力45W、6Ω、LPF 20kHz)(JEITA)
S/N比 102dB
入力感度 (ボリューム最大で定格出力を得る入力レベル)
LINE：46mVrms (JEITA)
PHONO (MM): 1.0mVrms (JEITA)

音声入力

アナログ入力
端子 . . . . . .RCA×2系統
入力インピーダンス . . . . . LINE：100kΩ(JEITA)
PHONO：47kΩ(JEITA)
RIAA偏差 PHONO(MM)
20Hz～15kHz、±0.5dB(JEITA)
デジタル入力
COAXIAL端子 . . . . . RCA×1(0.5Vpp/75Ω)
OPTICAL端子 . . . . . 光デジタル×1
(−24.0～−14.5dBm peak)
USB端子 . . . . . .USB Type B×1(USB1.1以上)
入力サンプリング周波数
COAXIAL、OPTICAL . . . . . 32～192kHz
USB . . . . . 32、44.1、48、96kHz

CD/SACDプレーヤー

再生可能フォーマット . . . スーパーオーディオCD、CD-DA
再生可能ディスク . . . . スーパーオーディオCD、CD、CD-R、CD-RW

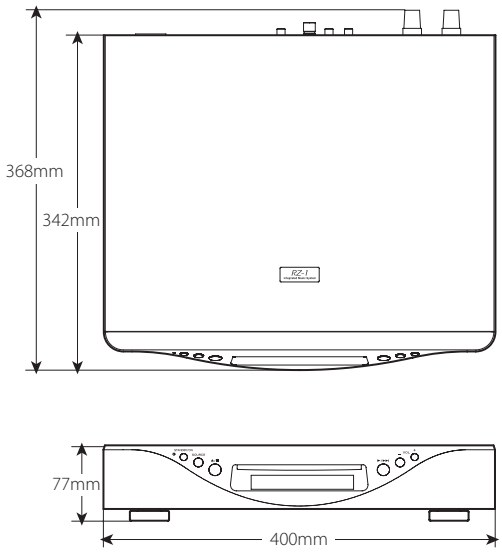
一般

電源. . . . . .100V AC 50-60Hz
消費電力 . . . . . .105W (スタンバイ時 0.5W)
外形寸法 . . . . . 400mm x 77mm x 368mm
(WxHxD、突起部を含む)
質量. 9kg
許容動作温度 . . . . . +5℃～+35℃
許容動作湿度 . . . . . 5%～85%(結露のないこと)
許容保管温度 . . . . . −20℃～+55℃

付属品

電源コード×1
リモコン(RC-1251)×1
リモコン用乾電池(単3)×2本
フェルト×4枚
取扱説明書(本書)×1
ご愛用者カード×1

寸法図



仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、ご購入後なるべく1 ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日から3年です。

- 保証書発行には約 1 ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合 (6 ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等) は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
   (7) 保証書の提示がない場合
   (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (次のページに記載) にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

27ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (次のページに記載)にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料 ：故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代 ：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料 ：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：インテグレーテッドミュージックシステム RZ-1
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めるなどしてお互いに快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

エソテリック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　　http://www.esoteric.jp/

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話等からはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

エソテリック株式会社

PRINTED IN JAPAN 0913·MA-1536D